



岩手日報(盛岡)

Iwate Nippo
(Morioka)

2014.9.3(水)

リサイクル古着店「ドンドンアップ」

海外に初出店へ

カンボジアに6日

東南アジア中心に展開



リサイクル古着店「ドンドンダウン オン ウエンズデー」を展開するドンドンアップ（盛岡市、資本金4億9942万円、岡本昭史代表取締役）は2日、カンボジアの首都プノンペンに海外初出店すると発表した。高品質でデザイン性の高い日本の古着は海外の若者にも人気で、今後は東南アジアを中心に出店を加速させる方針だ。

同社によると、新店舗名は「ドンドンダウン オン ウエンズデー」。カンボジアの衣料品店経営者がフランチャイズ加盟し、店舗を運営。プノンペン郊外の市街地に、6日オープンする。

店舗面積は約270

（約840円）から50

（約50円）までの10段階で値下がりするシステムを採用する。

「アやタイなど東南アジアへの出店を進めていきたい」と話している。

同社によると、経済成長が続くカンボジアは近年、高品質の商品を適正な価格で購入する消費スタイルが定着しつつあるという。今年6月には、イオンがプノンペン中心部にショッピングモールを初出店するなど日本企業の出店も進んでいる。日本製の古着は、海外で品質やデザイン性の高さが人気で、カンボジアでも受け入れられると想定している。

同社は現在、フランチャイズを含め、国内で64店舗を展開する。

同社の菊地岳彦・広報担当は「今回の海外進出を機に、マレーシ